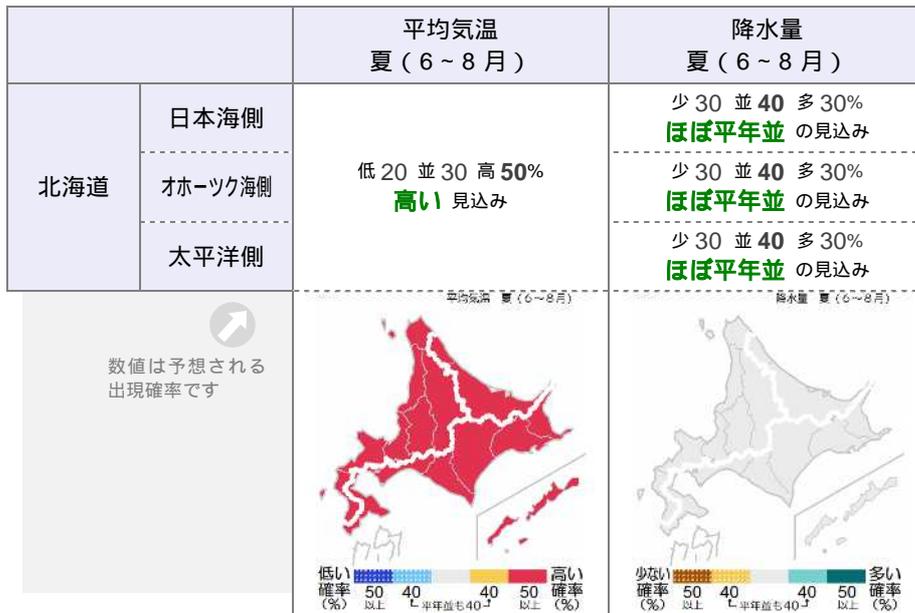


# 夏の天候の見通し 北海道地方 6～8月

## 予報のポイント

- 太平洋高気圧の北への張り出しが強いため、北海道付近は暖かい空気に覆われやすく、夏の気温は平年より高いでしょう。
- 夏の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

## 夏（6～8月）の平均気温・降水量



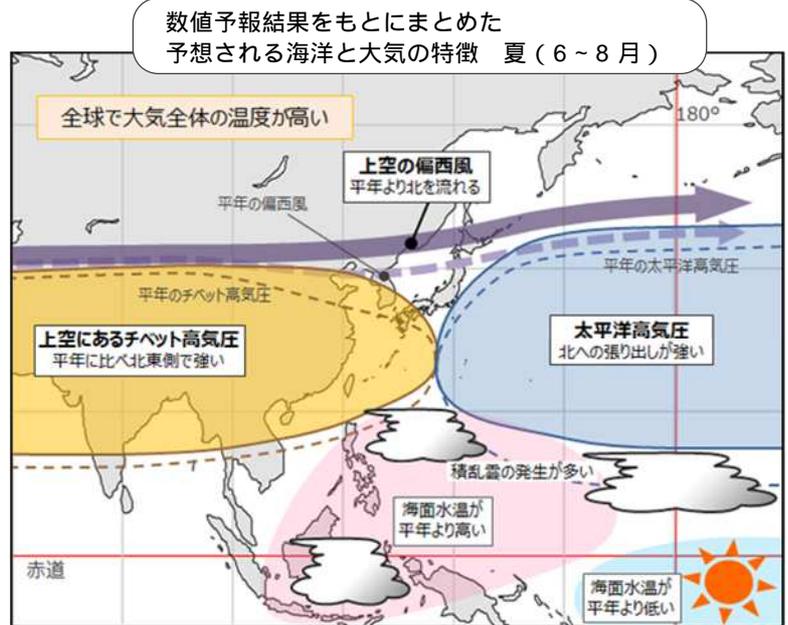
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い(少ない)、平年並、高い(多い)」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ(平年並の範囲)」をご覧ください。

### 確率予報の解説(ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

出現確率 (低い(少ない): 平年並: 高い(多い))	解説
高い(多い)確率が50%以上 (20:40:40)	<b>高い(多い)</b> 見込み
平年並の確率が50%以上 (40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	<b>平年並か高い(多い)</b> 見込み <b>平年並</b> の見込み
(40:40:20)	<b>平年並か低い(少ない)</b> 見込み
低い(少ない)確率が50%以上	<b>低い(少ない)</b> 見込み

## 予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、地球全体で大気の温度が高いでしょう。
- 海面水温は、太平洋赤道域の日付変更線付近で平年より低いでしょう。一方、太平洋熱帯域の西部では高く、積乱雲の発生が多いでしょう。
- これらの影響のため、上空にあるチベット高気圧は平年に比べて北東側で強く、上空の偏西風は日本付近で平年より北を流れるでしょう。
- 太平洋高気圧は、北への張り出しが強くなり、北海道付近は暖かい空気に覆われやすい見込みです。



## 最近5年間の夏の特徴

年	平均気温 平年差 (階級)	降水量 平年比 % (階級)	夏の天候の特徴
2017	0.0 (0)	105 (+)	記録的だった6月の多雨と7月の高温。
2018	-0.3 (0)	161 (++)	不順な天候。前線が停滞して記録的な大雨で災害も。
2019	+0.4 (0)	102 (0)	札幌で3日連続の熱帯夜。7月まで少雨傾向続くも8月は多雨。
2020	+0.8 (+)	91 (0)	6月下旬は記録的な真照。7月は少雨。8月の宗谷地方は記録的な大雨の日も。
2021	+1.5 (++)	65 (--)	夏の日本海側とオホーツク海側は記録的な少雨・多照。7月は記録的な高温・少雨。

階級 気温 --: かなり低い - : 低い 0: 平年並 +: 高い ++: かなり高い  
降水量 --: かなり少ない - : 少ない 0: 平年並 +: 多い ++: かなり多い

## 参考データ

### 平年並の範囲

	平均気温 夏(6～8月)	降水量 夏(6～8月)
北海道地方	平年差: -0.3～+0.4	平年比: 86～103%
北海道日本海側	平年差: -0.4～+0.4	平年比: 88～111%
北海道オホーツク海側	平年差: -0.3～+0.7	平年比: 82～110%
北海道太平洋側	平年差: -0.5～+0.6	平年比: 86～106%
札幌	19.7～20.6	241.6～292.0mm
網走	16.5～17.6	224.1～294.7mm
釧路	15.1～16.1	277.1～387.5mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1991～2020年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」、「平年並」、「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11～20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

### 晴れ日数と降水日数の平年値

	6月		7月		8月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
札幌	14.5日	7.5日	13.7日	7.7日	14.9日	9.5日
網走	13.5日	8.9日	12.9日	9.3日	14.0日	10.0日
釧路	9.9日	8.4日	8.7日	9.4日	10.2日	10.2日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。